

静岡市立清水高部東小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年9月26日(火)



◎埋蔵文化財の仕

9月26日(火)、静岡市立清水高部東小学校を訪問、6年生の皆さんを対象に、「埋蔵文化財センターの仕事(発掘調査)について」のお話と「土器の分類」と「火起こし」の古代の人々の生活を体験する授業を行いました。本物に触れての体験には興味津々で、みんな目を輝かせて、真剣に取り組んでいました。この学習を通して埋蔵文化財センターの仕事や古代の人々の生活や歴史に興味関心をもって今後の学習に結びつけることが出来たらと思います。



◎土器分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器(すえき)の3つの時代の実物の土器を参考にしながら、出土した土器片を直接手に取り、見た目や肌触りなどそれぞれの時代の土器の特徴や違いを見つけて分別する土器分類に挑戦しました。

埋蔵文化財センターでは、古代の人々の生活の様子を知る手がかりとなる発掘調査や出土した土器や石器、木器、金属器などをさまざまな機械や道具を使って行う復元する修復保存作業などを行っています。そうした、センターの役割や仕事について話を聞きました。

◎火起こし体験



野外活動で経験したことはありましたが、実際に挑戦してみると、火起こしは大変でした。最初は、なかなか火が付きませんでした。みんなで協力し、コツを覚えると、天候にも恵まれ、次々と火を起すことができました。煙が目にしみてつらかったけれど、昔の人々の工夫もいろいろと感ずることができました。

